

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択結果及び採択理由について

津幡町教育委員会

標記について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第13条第5項の規定により、下記のとおり採択しました。

記

種 目	発行者番号：略称	継続・採択替え の別
国 語	38：光 村	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
書 写	38：光 村	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
社会（地理的分野）	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
社会（歴史的分野）	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
社会（公民的分野）	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
地 図	46：帝 国	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
数 学	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
理 科	61：啓 林 館	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
音楽（一 般）	27：教 芸	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
音楽（器楽合奏）	27：教 芸	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
美 術	38：光 村	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
保健体育	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
技術・家庭（技術分野）	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
技術・家庭（家庭分野）	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
英 語	2：東 書	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え
道 徳	116：日 文	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 採択替え

令和7年度使用

中学校用教科用図書採択理由

採択理由に記載されている採択の留意点①から⑦の観点については、石川県教育委員会が示す「令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書）の採択方針」及び「令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択方針）に記載されている採択の留意点に基づいています。

令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書）
の採択方針

石川県教育委員会



令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書（以下「一般図書」という。））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書の採択について

- (1) 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。

[採択の留意点]

- ① 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。
- ② 思考力・判断力・表現力等を育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。
- ③ 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。
- ④ 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。
- ⑤ 現代的な諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版等の印刷が適切であること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する、「令和7～10年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

2 一般図書の採択の留意点について

- ① 児童生徒の障害の種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容のものであること。
- ② 教科の目標に沿う内容をもつものであり、上学年で使用することとなる教科書との関連性や系統性を考慮すること。

[選定資料の活用]

一般図書の採択に当たっては、今年度、石川県教育委員会が作成する「一般図書選定資料」を活用すること。

令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））
の採択方針

石川県教育委員会



令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択の留意点について

- ① 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。
- ② 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。
- ③ 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。
- ④ 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。
- ⑤ 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達の段階に適応していること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する「令和7～10年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.1)

(津幡町教育委員会)

種 目	国 語	発行者番号・略称	3 8 光 村
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「語彙ブック」には多くの言葉が掲載されており、自分の思いや考えを伝える際に活用したり、語彙を増やしたりできる。また、他ページと紙質やサイズが違うため、見つけやすい。 		
	採択の留意点②の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのカギ」では、思考のポイントが説明とともに図解で示されたり、注目すべき言葉が色分けして書かれていたり、学習で用いる言葉の解説が掲載されたりしており、学びを深めやすくなっている。また、学習に臨む際に持ってほしい疑問を提示することで、学びの方向性が定めやすくなっている。 		
	採択の留意点③の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びへの扉」「振り返る」では、「知る」「読む」「つなぐ」といった観点別にその内容が具体的に明示されており、自分の言葉でまとめることで学びを自覚できるように配慮されている。 		

種 目	書 写	発行者番号・略称	3 8 光 村
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元は見開き1ページで、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の構成になっており、気づきから定着への流れを意識させた構成になっている。また、同ページには「学びのカギ」として、単元で身に付けたい資質・能力が簡潔に示されている。 		
	採択の留意点②の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「まとめ書きと応用」では、教材で学習したことを生かして別の熟語を書く欄が設けられ、知識や技能を活用することができるように配慮されている。 		
	採択の留意点⑦の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊の「書写ブック」は切り離れるようになっており、他教科の学習にも活用できるよう工夫されている。 		

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.2)

(津幡町教育委員会)

種 目	社会 (地理的分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキルアップ」では、統計資料の読み取り方や様々なまとめ方が提示され、資料活用の技能が身につくように配慮されている。また、QRコードから解説動画の視聴も可能である。 ・鉛筆のマークが付された資料では、既習の知識や技能を活用して表現する活動が設けられ、身につけた技能を活用することができるように配慮されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい！」では、学習内容に関する新たな視点が示され、自主的に学習を深めることができるように配慮されている。 ・「まとめの活動」では、考察するヒントや考えたことを構造的にまとめられるよう工夫されており、探究課題を解決できるように配慮されている。 		
	採択の留意点⑦の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の窓」では、「自然環境」、「都市と人口」、「産業」、「交通と通信」、「生活と文化」の視点で写真資料が掲載され、各州の特色を捉えやすいように工夫されている。 		

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「スキルアップ」では、年表や系図の読み取り方などのポイントが示され、基礎的・基本的な技能の定着が図られている。 		
	採択の留意点②の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ」では、歴史的事象の原因や影響などについて調べたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身につけることができるように配慮されている。また、複数資料を関連させて思考する力を身につけることができるよう、配慮されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
採 択 理 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい！」では、学習内容を深めたり、異なった視点から捉えたりするコラムが掲載され、歴史学習への関心や意欲を高めることができるように配慮されている。 		
	採択の留意点⑥の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「小学校で習ったことば」では、小学校での既習事項が掲載され、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。 		

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.3)

(津幡町教育委員会)

種 目	社会 (公民的分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「チェック」、「トライ」では学習内容を確認したり、現代社会の見方・考え方を働かせて説明したりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。 ・「スキル・アップ」では、具体的な資料を読み取ったり、読み取った情報を基に考察したりする活動が設けられ、資料活用の技能の定着が図られている。 		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでチャレンジ」では、社会的事象について、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。 ・「深めよう」では思考ツールを活用し、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を解決する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。 		
採択の留意点③の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・「導入の活動」では、章の学習に関する資料を基に、章を貫く「探求課題」とその解決に向けた「探求のステップ」が示され、学習の見通しをもち、自主的に学習を行うことができるように配慮されている。 			

種 目	地 図	発行者番号・略称	4 6 帝 国
採 択 理 由	採択留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の諸地域とも資料図が豊富で、調べ学習がしやすいように工夫がされている。 ・問いコーナーに、地図や資料を読み取るための適切な質問が用意されている。 ・二次元コードが載せてあり、質問の解答例やウェブコンテンツを見ることができる。 		
	採択留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・問いコーナーに、地図や資料から読み取ったことをもとに事象の共通点、特色、理由などを考えさせるための適切な質問が用意されている。 		
	採択留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域や日本の地域において、地形の特徴を捉えやすい鳥瞰図が地域の特色を示すイラスト入りで用意されており、生徒が地図に興味・関心を持ちたくなるような工夫がされている。 		
	採択留意点④の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> ・世界及び日本の生活・文化では、写真を豊富に使って特色がつかみやすいように工夫がされている。また、世界遺産を見つけやすいように地図やさくいんの表記に工夫がされている。 			
採択留意点⑤の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・防災と環境に関する資料をマークで示し、防災や環境保全の意識を高める工夫がされている。 			
採択留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に地図と資料図が大きく、着色が鮮やかで、読み取りやすいように工夫がされている。 			

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.4)

(津幡町教育委員会)

種 目	数 学	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず解けるようになってほしい問題、巻末の「補充の問題」のやや難しい問題にはマークが付されており、習熟の程度に応じて問題に取り組むことで、理解が確認できるように配慮されている。 ・節末には「基本の問題」が設けられており、学習内容の理解を繰り返し確認することで基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。 		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・深い学びでは、日常の場面の中にある問題を、数学を用い、問題発見・解決の過程を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるよう配慮されている。 ・虫眼鏡マークが付されている吹き出しでは、働かせたい数学的な見方・考え方が示されており、統合的・発展的に考えることができるように配慮されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> ・「学びを振り返ろう」や「数学の目で振り返ろう」では、問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を振り返る活動が設けられており、数学的な見方・考え方を働かせるよさを実感できるように配慮されていることや、次年度の学習への意欲を促すことができるようになっている。 ・生徒同士の授業でのつぶやきの吹き出しがあり生徒主体に学習が進められるようになっている。 			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの数が多く、一人一人が数学的活動に取り組んだり適用題に進んだりできるよう活用しやすいように配慮されている。 			

種 目	理 科	発行者番号・略称	6 1 啓 林 館
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では章末に基本用語の確認問題や、単元末に学習のまとめが掲載されており、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができるよう配慮されている。 ・「実験を正しく安全にすすめるために」では安全に実験を進めるために必要な技能について、マークとともにまとめて簡潔に掲載してあるため、スムーズに技能の確認ができる。特に、1年ではイラスト等ではなく、実際の写真が多く採用されていることで、分かりやすく知識の定着ができるよう配慮されている。 		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのレポート」では、自分でレポートをまとめる際のポイントが示されており、実験レポートを用いて、実験して分かった事実と自分の考えを分けて表現できるように配慮されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元に「探Q実験」が設定されており、巻末にある「探Qシート」を使って学びを深めることができるように配慮されている。特に仮説を3段階構成とし、よりよい仮説を自然に立てられるよう工夫されている。また生徒の実態に合わせて「探Qラボ」を効果的に使うことで、発展学習も可能となっている。 ・すべての各章の導入において、大きな写真が採用されている。具体的な問いとともに載せられており、それらを追究していくような章の構成となっているため、とても効果的な写真である。 		
	採択の留意点⑥の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> ・「部活ラボ」、「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」では、職業や科学技術、食材等の多くのコラムが掲載されており、理科の学習と日常生活や社会とのつながりについて実感できるように配慮されている。 			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用する例や場面を「ICT」マークとともに示されており、観察・実験に効果的な活用ができるように配慮されている。 			

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.5)

(津幡町教育委員会)

種 目	音楽 (一 般)	発行者番号・略称	27 教 芸
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	・「音楽を形づくっている要素」では、思考・判断のよりどころとなる音楽の要素が、既習の楽曲を用いて示され、基礎的・基本的な知識を習得することができるように配慮されている。		
	採択の留意点②の観点より		
	・学習活動を進めるうえで、知覚・感受したことをもとに思考、判断、表現するためのヒントがキャラクターの吹き出しによって示されているほか、思考した内容を記述する場面が設定されたり、作品例やワークシートが掲載されたりするなど、段階を踏んで学習を深めることができるように配慮されている。		
	採択の留意点④の観点より		
・歌舞伎役者である松本幸四郎・市川染五郎親子のインタビューが掲載され、我が国の伝統文化に親しみ、それらを尊重する態度を養うことができるように配慮されている。			
採択の留意点⑤の観点より			
・「ルールを守って音楽を楽しもう!」では、著作権や音楽が生み出される仕組みなどが掲載され、音楽を利用する際の諸問題を解決したり留意したりできるような態度を育むことができるように配慮されている。			
採択の留意点⑦の観点より			
・学習内容と関連したデジタルコンテンツへアクセスするための二次元コードが数多く掲載され、必要な情報を選択しながら、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。			

種 目	音楽 (器楽合奏)	発行者番号・略称	27 教 芸
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	・曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、音楽活動を通して知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。		
	採択の留意点②の観点より		
	・「学びのコンパス」では、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素が示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら表現の工夫に迫ることができるように配慮されている。		
	採択の留意点④の観点より		
・和楽器を取り上げたページでは、楽器の奏法に関することに加え、中学生に向けた名手のメッセージも掲載され、我が国の伝統や文化を尊重することができるように配慮されている。			
採択の留意点⑥の観点より			
・「アンサンブル」、「楽器でMelody」では、歌唱分野や鑑賞領域と関連させながら学習できる楽曲が掲載され、領域・分野横断的な活動を通して、より深まりのある学習をすることができるように構成されている。			
採択の留意点⑦の観点より			
・学習内容に関連したデジタルコンテンツへアクセスするための二次元コードが数多く掲載され、必要な情報を選択しながら、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。			

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.6)

(津幡町教育委員会)

種 目	美 術	発行者番号・略称	3 8 光 村
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊資料では、基本的な用具の使い方や技法等がまとめられ、教科書の関連ページ右端には別冊へのリンクが示されており、3年間を通じて活用できるように配慮されている。 ・「POINT」では、形や色彩、材料、光等の共通事項を意識した問いかけが示されており、作品への見方や感じ方を深めることができるよう配慮されている。 		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの工夫」では、表現していく過程が吹き出しや写真とともに紹介されており、発想や構想、表現をするときの手掛かりとなるよう配慮されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭・巻末に谷川俊太郎の「うつくしい!」を掲載することで、心情に訴えたり、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 			
採択の留意点⑤の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連が深い題材では、「コラム」が設けられており、美術の学びと他教科の学びのつながりが具体的に示されている。 			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞する題材では、屏風のように建てられる仕組みを作ったり、原寸大の図案や和紙のような風合いのある用紙を使ったページが設けられており、文字も和を感じるフォントを使うなど、より本物に近い感覚で鑑賞することができるように配慮されている。 			

種 目	保健体育	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能の習得が図れるよう、「学習課題」と「キーワード」が具体的に示されており、各章末に章末資料及び学習のまとめを設けるなど工夫されている。 		
	採択の留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味や関心を引き出し、自発的な学習を促すための工夫として、1単位時間毎にデジタルコンテンツが用意されており、動画を見たり、シミュレーションを行えたりできるような教材が設定されている。 		
採択の留意点⑥の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・系統的・発展的な学習を促すために、各章のはじめに、小学校で学習したこと、高校で学習することが示されており、1単位時間の終わりに「広げる」で学習したことを自分の生活に当てはめたり、更に調べたりすることができる工夫がされている。 			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容はそのままに、文章量は減少しており、教科書を見て圧迫感や抵抗感を受けにくい印象がある。また、関係する本文と資料が従来と比較し、より適切に配置されている。 			

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.7)

(津幡町教育委員会)

種 目	技術・家庭(技術分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	・基礎的・基本的な知識・技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるように重要事項はゴシック体で表記され、さらに知識を広げることができるように「技術の工夫」を設けている。		
	・編末の「学習のまとめ」では、自己評価による学習内容の確認と、確認問題や重要語句の一覧を掲載し、学習事項の確実な定着ができるよう配慮されている。		
	採択の留意点②の観点より		
	・「問題解決例」では、活動の流れが明確に示され、見通しをもって問題解決に取り組むことができるように配慮されている。		
	採択の留意点③の観点より		
	・生徒の興味・関心を高める手立てとして、「やってみよう」や「技術の匠」、「資料」、「すごいぞ！技術」を通して、自主的、自発的な学習が促されるような工夫がされている。		
採択の留意点⑤の観点より			
・二次元コードより、単元に関わる話題等を知ることができ、現代的な諸課題や各教科等との関連に対応できるよう配慮されている。			
採択の留意点⑦の観点より			
・イラストや写真と文章とのバランスがととてもよく、見やすさと分かりやすさに配慮されている。			

種 目	技術・家庭(家庭分野)	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	採択の留意点①の観点より		
	・実習に関する内容では、「できたかな？」や「チェック」等で技能項目を具体的に示し、確実に知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。		
	採択の留意点②の観点より		
	・問題解決的な学習課題が毎ページに提示されると共に、小項目においても細かな問いが投げかけられ、課題を解決するための思考力や判断力を養えるよう配慮されている。		
	採択の留意点③の観点より		
	・「レッツスタート」で自分の生活を振り返る問いかけが設定されている。また、実生活を想起しやすい資料が配置されており、生徒の興味を高め、自主的に学習を促す工夫がされている。		
	採択の留意点④の観点より		
・日本の伝統的な衣食住文化が豊富に取り上げられており、理解を深められるよう工夫されている。			
採択の留意点⑤の観点より			
・各学習内容の終末に持続可能な生活を考えるまとめが配置されている。他にもサステナブルな視点に特化した資料が含まれており、現代の諸課題への意識が高まる内容となっている。			
採択の留意点⑥⑦の観点より			
・他領域との関連がマークで示されている。さらに、二次元コードでは小学校で学習した教科書のページが資料として活用され、学習の進度や興味・関心に合わせて利用できるような配慮が見られる。			

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択理由 (No.8)

(津幡町教育委員会)

種 目	英 語	発行者番号・略称	2 東 書
採 択 理 由	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 各パート末の「Activity」では、学習した文法事項などを用いて表現する活動を繰り返し行うことで、基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。 各学年の「Grammar for Communication」では、言語材料の特徴やきまりを確認し、表現する活動が設定されており、言語材料を適切に使うことができるよう配慮されている。 <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の「Unit Activity」、「Stage Activity」では、目的や場面、状況に応じて自己表現する活動が設定されており、各 Part で学習したことを活用できるよう配慮されている。 各 Unit の「Read and Think」では、概要を捉える活動やその内容について自分の意見を表現する活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等が育成されるように配慮されている。 <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年巻頭の「学び方コーナー」では、いつでも振り返ることができるように、学習のポイントやコツが掲載されており、自主的に学習することができるように配慮されている。 <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 英国人落語家へのインタビュー、世界遺産の富士山の魅力と課題、世界から見た日本のポップカルチャーなどが題材として扱われており、伝統と文化を尊重する態度が育成されるように配慮されている。 <p>採択の留意点⑥より</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年のUnit 1～4の「Enjoy Communication」では、小学校での既習事項を振り返ることができる活動が設定されており、中学校での学習を円滑に始められるように工夫されている。 		

種 目	道 徳	発行者番号・略称	1 1 6 日 文
採 択 理 由	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 別冊「道徳ノート」は1時間ごとのワークシート型で、始めに発問を自分で書き、自分の考えをまとめる様式になっている。最後には「自分への振り返り」として自己評価欄がある。 「自分に+1(プラス1)」のコーナーで、教材を通して考えたことを自己理解、自己啓発につなげ、自分に自信が持てるように工夫されている。 「道徳ノート」の最後には、学期ごとの振り返りを促し、心の成長の記録として一年間の生徒の個人内評価に役立てられるよう構成されている。 <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学びを深めよう」のページには、教材に続き、役割体験やシミュレーションを通して実際に感じ、道徳的な問題に対して考えを深められる「学びを深めるヒント」がある。 <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」などのテーマに基づき、多様性を尊重する、持続可能な社会の創り手の育成が意識されている。いじめ問題やSDGs、環境問題を扱った教材を連続して配列したユニット「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」が学期ごとにあり、集中的に、関連性をもって学習し、考えを広げ、学びを深める構成になっている。 <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> 「視野を広げて」は、道徳以外での活用を意識した各教科と関連させ、生き方について視野を広げるためのコラムが掲載され、教材を通して多角的・多面的に考えるための補助資料となっている。 <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが充実している。書き込み式の「ワークシート」、「朗読音声」、さらに「関連資料」、「インタビュー動画」、「道具箱」等もあり、授業で使いやすく、実用的である。 		